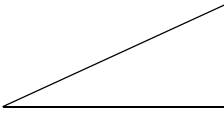


第3問 (20点)

貸借対照表

X6年3月31日

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
I 流 動 資 産		I 流 動 負 債	
⑩ 現 金 預 金	(1,245,200)	支 払 手 形	331,800
電子記録債権	(320,000)	買 掛 金	630,000
① 貸 倒 引 当 金	(3,200) (316,800)	未 払 法 人 税 等	(★ 19,500) ⑮
売 掛 金	(880,000)	未 払 費 用	(★ 4,500) ⑭
② 貸 倒 引 当 金	(8,800) (★ 871,200)	流 動 負 債 合 計	(985,800)
④ 有 価 証 券	(103,700)	II 固 定 負 債	
③ 商 品	(★ 291,000)	長 期 借 入 金	540,000
⑧ 未 収 収 益	(★ 1,800)	繰 延 税 金 負 債	(1,500) ⑤
流動資産合計	(2,829,700)	固 定 負 債 合 計	(541,500)
II 固 定 資 産		負 債 合 計	(1,527,300)
有形固定資産		純 資 産 の 部	
建 物	(8,730,000)	I 株 主 資 本	
⑪ 減 価 償 却 累 計 額	(1,746,000) (6,984,000)	資 本 金	8,400,000
備 品	(960,000)	利 益 準 備 金	471,000
⑫ 減 価 償 却 累 計 額	(555,000) (★ 405,000)	繰 越 利 益 剰 余 金	(707,500) ⑯
有形固定資産合計	(7,389,000)	株 主 資 本 合 計	(9,578,500)
無形固定資産		II 評 価 ・ 換 算 差 額 等	
⑬ ソフトウェア	(★ 324,000)	そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	(★ 3,500) ⑥
無形固定資産合計	(324,000)	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	(3,500)
投資その他の資産		純 資 産 合 計	(9,582,000)
⑦ 投 資 有 価 証 券	(★ 206,600)		
⑨ 長 期 性 預 金	(★ 360,000)		
投資その他の資産合計	(566,600)		
固定資産合計	(8,279,600)	負 債 及 び 純 資 産 合 計	(11,109,300)
資 産 合 計	(11,109,300)		

* 上記の○番号は、解説の番号と対応しています。

★ 1つにつき2点
合計20点

解説

決算整理事項の処理

1. 貸倒引当金の設定

(貸倒引当金繰入)	8,400	(貸倒引当金)	8,400
-------------	-------	-----------	-------

貸倒引当金繰入： $\text{¥}320,000 \times 1\% = \text{¥}3,200$ (電子記録債権に対する設定額)
 $\text{¥}880,000 \times 1\% = \text{¥}8,800$ (売掛金に対する設定額)
 $(\text{¥}3,200 + \text{¥}8,800) - \text{¥}3,600 = \text{¥}8,400$
 設定額合計 貸倒引当金残高

- 貸倒引当金 (電子記録債権)： $\text{¥}3,200$ … ①
- 貸倒引当金 (売掛金)： $\text{¥}8,800$ … ②
- 貸倒引当金繰入： $\text{¥}8,400$

2. 売上原価の計算および商品の評価 (売上原価を仕入勘定で算定していると仮定)

(仕入)	276,000	(繰越商品)	276,000
--------	---------	----------	---------

(繰越商品)	300,000	(仕入)	300,000
----------	---------	--------	---------

(棚卸減耗損)	9,000	(繰越商品)	9,000
-----------	-------	----------	-------

(仕入)	9,000	(棚卸減耗損)	9,000
--------	-------	-----------	-------

棚卸減耗損： $\text{¥}300,000 - \text{¥}291,000 = \text{¥}9,000$

- 売上原価： $\text{¥}276,000 + \text{¥}6,960,000 - \text{¥}300,000 + \text{¥}9,000 = \text{¥}6,945,000$
- 商品： $\text{¥}276,000 - \text{¥}276,000 + \text{¥}300,000 - \text{¥}9,000 = \text{¥}291,000$ … ③

3. 有価証券の評価

売買目的有価証券 (N社株式) の評価替え

(売買目的有価証券)	2,900	(有価証券評価益)	2,900
--------------	-------	-------------	-------

有価証券評価益： $\frac{\text{¥}103,700}{\text{期末時価}} - \frac{\text{¥}100,800}{\text{帳簿価額}} = \text{¥}2,900$ (評価益)

その他有価証券 (E社株式) の評価替え

(その他有価証券)	5,000	(繰延税金負債)	1,500
		(その他有価証券評価差額金)	3,500

<決算整理前残高試算表の推定箇所>

他の推定箇所 (満期保有目的債券、備品減価償却累計額) の金額を求め、決算整理前残高試算表の貸借合計により、決算整理前残高を求めてから決算整理を行う。

満期保有目的債券： $\text{¥}84,600$ (3. 満期保有目的債券の決算整理前残高より)

備品減価償却累計額： $\text{¥}420,000$ (5. 備品減価償却累計額の決算整理前残高より)

決算整理前残高試算表の貸方合計が $\text{¥}23,115,200$ と判明するので

決算整理前残高試算表の貸借合計より

その他有価証券： $\text{¥}115,200$

その他有価証券： $\frac{\text{¥}120,200}{\text{期末時価}} - \frac{\text{¥}115,200}{\text{帳簿価額}} = \text{¥}5,000$ (評価益相当)

繰延税金負債： $\text{¥}5,000 \times 30\% = \text{¥}1,500$

その他有価証券評価差額金： $\text{¥}5,000 - \text{¥}1,500 = \text{¥}3,500$

Point

その他有価証券

帳簿価額が推定となっているので、他の推定箇所を求めてから、貸借差額によって計算する。

評価益相当の場合

評価差額の30%を繰延税金負債勘定、残りの70%をその他有価証券評価差額金勘定(貸方)で処理する。

6. ソフトウェア

(ソフトウェア償却)	36,000	(ソフトウェア)	36,000
------------	--------	----------	--------

$$\text{ソフトウェア償却} : \text{¥}360,000 \times \frac{6\text{か月}}{60\text{か月}} = \text{¥}36,000$$

- ソフトウェア償却 : ¥36,000
- ソフトウェア : ¥360,000 - ¥36,000 = **¥324,000** ... ⑬

7. 利息の未払計上

(支払利息)	4,500	(未払利息)	4,500
--------	-------	--------	-------

- 支払利息 : ¥29,000 + ¥4,500 = ¥33,500
- 未払費用 (未払利息) : **¥4,500** ... ⑭

8. 法人税、住民税及び事業税の計上

(法人税、住民税及び事業税)	19,500	(未払法人税等)	19,500
----------------	--------	----------	--------

売上総利益

売上原価 ¥ 6,945,000	売上高 ¥ 10,200,000
売上総利益 ¥ 3,255,000	

営業利益

販売費及び一般管理費	売上総利益 ¥ 3,255,000
給料 ¥ 2,340,000	
水道光熱費 ¥ 239,200	
保険料 ¥ 115,200	
減価償却費 ¥ 426,000	
ソフトウェア償却 ¥ 36,000	
貸倒引当金繰入 ¥ 8,400	
営業利益 ¥ 90,200	

税引前当期純利益

営業外費用	営業利益 ¥ 90,200
支払利息 ¥ 33,500	営業外収益
	有価証券利息 ¥ 3,600
	受取利息 ¥ 1,800
税引前当期純利益 ¥ 65,000	有価証券評価益 ¥ 2,900

- 未払法人税等 : **¥19,500** ... ⑮
- 法人税、住民税及び事業税 : ¥19,500
- 当期純利益 : ¥65,000 - ¥19,500 = ¥45,500
- 繰越利益剰余金 : ¥662,000 + ¥45,500 = **¥707,500** ... ⑯

Point

当期の10月1日に取得・使用開始したので、当期末まで6か月経過している。

5年=60か月

Point

返済期日がX7年4月1日以降に到来するということは、決算日の翌日から1年超となるため長期借入金として表示する。

Point

繰越利益剰余金は時間に余裕がない場合は、貸借対照表の差額で求める。

売上高 - 売上原価 = 売上総利益

売上総利益 - 販売費及び一般管理費 = 営業利益

営業利益 + 営業外収益 - 営業外費用 = 税引前当期純利益

(本間では特別利益と特別損失の計上がないため。)

繰越利益剰余金 = 決算整理前残高試算表の残高 + 当期純利益